

2026 年度(令和 8 年度)学校評価自己評価表

加茂中学校区	校番 39	福山市立加茂中学校
最終更新日		2026年(令和8年)4月1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <p>○地域と小中学校が日常的に連携を取り、9年間を見通した系統性・継続性のある加茂・山野・広瀬でのふるさと学習の内容を検討し、進めていくことが大切である。</p> <p>○「地域について語れる」児童・生徒を育てるための定期的な学習を展開して欲しい。地域の側では、協力してくれる人材を発掘します。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○1小1中という環境にあり、学習面・生活面において、つながりをつくりやすい。</p> <p>○問いに対する自分の考えを、文章にしていくことに課題がある。</p> <p>○友人との関わりや見方が固定化し、互いの新たな可能性や成長に気づきにくい。</p>	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす生徒像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力 コミュニケーション力 あきらめない心</p> <p>学びを楽しむ・学びを活かす生徒 夢を語る・自分のことを語る生徒</p> <p>①幼保小中連携 子ども・教職員の交流を通して、幼児期から小中学校までの学びをつなぐ「幼保小・小中・幼保中」連携した教育活動の実践</p> <p>②地域とともにある学校 CSを導入し、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図る 地域素材を活用した教育活動の実践</p>
--	---	---	--

III 自校

<p>学校教育目標</p> <p>ともに 学び合い 高め合う</p> <p>～ 自分を知り 夢を叶える ～</p>

<p>現状</p> <p><生徒></p> <p>○生徒会執行部や委員長・リーダーを中心に、よりよい学校づくりに向けて、協力したり支え合ったりする姿が見られる。</p> <p>○2月1日現在の不登校数 23 人(前年同時期 30 人)で、前年度比 76%と減少している。</p> <p>○アンケート調査の結果、「安心した学校生活を送れている」生徒が 95.7%と高い。</p> <p>○地元への関心が高まり、地域の方と接する場面で、主体的な行動が増え、アドバイスを次の活動に活かそうと姿が見られる。</p> <p>△2学期の標準学力調査の結果、5教科正答率4割未満の生徒は、1年 38.1%、2年 29.5%であった。</p> <p>△地域のよさを語る生徒は 72.2%。</p> <p><授業></p> <p>○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりする生徒の割合が8割を超えており、対話を大切に授業が増えている。</p> <p>△疑問を引き出し解決する授業づくりをめざして研修を重ねているが、依然として教師主体の授業から抜け切れていない現状もある。</p>

<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす生徒像</p>	<p>課題発見・解決力</p> <p>○現状を分析したり、新たに直面した事象を把握したりするなどして、課題を見出すことができる。</p> <p>○既習の知識・経験や他者の考えなどを、比較したり、関連付けたりしながら、解決への道筋を立てることができる。</p>	<p>コミュニケーション力</p> <p>○さまざまな表現方法で、自身の考えや思いを、自信を持って発信することができる。</p> <p>○他者の考えや思いに傾聴し、多様性を尊重することができる。</p> <p>○協働する中で、新しい価値観に気づいたり、互いに高め合う関係を築いたりすることができる。</p>	<p>あきらめない心</p> <p>○主体的に「やってみよう」という、高い意欲や好奇心を持っている。</p> <p>○仲間とともに、多様な方法を出し合い、試行錯誤しながら、何とかやり切ろうと課題に向き合っている。</p> <p>○最後まで、あきらめない、粘り強さがある。</p>
<p>研究</p> <p>テーマ</p>	<p>疑問が生まれ、多様な学びを楽しめる授業づくり</p>	<p>内容等</p> <p>○主体的・対話的で深い学びのある授業をつくるための教材研究と授業実践を繰り返す。</p> <p>○自分の授業を振り返り、見出した課題を解決するためのテーマを各自が設定し、他の教職員と対話・協働しながら探究する。</p>	
<p>めざす授業の姿</p>	<p>○生徒がともに学び合い、高め合うことで、「?(なぜ・どうして)」が、「!(わかった・できた・なるほど)」になる授業</p> <p>○教師も生徒も、「おもしろい」と感じられる授業</p>		